

御浜町新統合小学校及び統合中学校新築工事基本・実施設計業務委託 プロポーザル方式評価項目一覧

技術提案書（1次審査用）																				
大項目		中項目		小項目		評価基準		技術 評価点	小項目 得点	中項目 得点	大項目 得点	配点率	様式	備 考						
絶対評価	企業要件	業務実績	評価対象業務実績	「業務実績1」(*1)	9	9	14	14	14%	様式-2	○ 「評価対象業務」における実績から推察される技術力等を評価します。  ・ 様式-2に記載できる実績は1件のみとします。官民は問いません。 ・ 「業務実績1～3」の建築物の用途、延べ面積及び設計者がわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。ただし、PUBDIS(*10)に掲載のものは、その写しを添付することによって、これらの書類の一部に代えることができます。 ・ PUBDISに掲載のものはPUBDISのコードを記入してください。									
				「業務実績2」(*2)	6						○ 平成22年度以降に設計業務が完了した実績で、 <b>建築士事務所としての受賞歴</b> について評価します。  ・ 様式-2に記載できる実績は1件とし、用途、延べ面積を必ず記入してください。官民は問いません。 ・ 「受賞実績1」の対象は、「業務実績1」に示す設計業務(*11)とします。 ・ 「業務実績2」の対象は、「業務実績1」又は「業務実績2」に示す設計業務(*11)とします。 ・ 「受賞実績3」の対象は、「受賞実績1」及び「受賞実績2」以外の設計業務(*11)とします。 ・ 公共団体、建築学会、建築設計団体等の建築コンクール等の受賞歴を対象とします。広く公募されたものを対象とし、社内等のコンクール等の受賞歴は評価を行いません。 ・ 受賞実績がわかるもの（賞状の写し、掲載された雑誌の写しその他受賞実績がわかる書類）を添付してください。ただし、PUBDISに掲載のものは、その写しを添付することにより、これらの書類の一部に代えることができます。									
				「業務実績3」(*3)	3															
		過去の受賞実績	「受賞実績1」	5	5															
			「受賞実績2」	3																
			「受賞実績3」	1																
	技術職員の経験及び能力	管理者	建築CPDによる能力開発度	C P D 認定時間が20時間以上	3	3	17	様式-3、様式-4の1	○ 管理技術者の <b>建築CPDによる技術能力研鑽状況</b> を評価します。  ・ 建築C P Dの取得状況については、（公財）建築技術教育普及センターを事務局とする建築C P D運営会議の発行する建築C P D実績証明書におけるC P D取得単位（認定時間数）を記載してください。期間については令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とします。 ・ 該当する担当者が記載された建築C P D実績証明書を添付してください。											
				C P D 認定時間が10以上20時間未満	2				○ 設計者として <b>従事した「評価対象業務」における実績</b> を評価します。  ・ 様式-4の1に記載できる実績は1件とします。官民は問いません。 ・ 「業務実績4～6」の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。ただし、PUBDISに掲載のものは、その写しを添付することによって、これらの書類の一部に代えることができます。 ・ PUBDISに掲載のものはPUBDISのコードを記入してください。											
				C P D 認定時間が5以上10時間未満	1															
			評価対象業務実績(*12)	「業務実績4」(*4)	14	14														
				「業務実績5」(*5)	10															
				「業務実績6」(*6)	6															
		意匠主任技術者	建築CPDによる能力開発度	C P D 認定時間が20時間以上	3	3	13	様式-3、様式-4の2	○ 意匠主任技術者の <b>建築CPDによる技術能力研鑽状況</b> を評価します。  ・ 建築C P Dの取得状況については、（公財）建築技術教育普及センターを事務局とする建築C P D運営会議の発行する建築C P D実績証明書におけるC P D取得単位（認定時間数）を記載してください。期間については令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とします。 ・ 該当する担当者が記載された建築C P D実績証明書を添付してください。											
				C P D 認定時間が10以上20時間未満	2				○ 設計者として <b>従事した「評価対象業務」における実績</b> を評価します。  ・ 様式-4の2に記載できる実績は1件とします。官民は問いません。 ・ 「業務実績4～6」の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。ただし、PUBDISに掲載のものは、その写しを添付することによって、これらの書類の一部に代えることができます。 ・ PUBDISに掲載のものはPUBDISのコードを記入してください。											
				C P D 認定時間が5以上10時間未満	1															
			評価対象業務実績(*12)	「業務実績4」(*4)	10	10														
				「業務実績5」(*5)	7															
				「業務実績6」(*6)	4															
		構造主任技術者	建築CPDによる能力開発度	C P D 認定時間が20時間以上	3	3	13	様式-3、様式-4の3	○ 構造主任技術者の <b>建築CPDによる技術能力研鑽状況</b> を評価します。  ・ 建築C P Dの取得状況については、（公財）建築技術教育普及センターを事務局とする建築C P D運営会議の発行する建築C P D実績証明書におけるC P D取得単位（認定時間数）を記載してください。期間については令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とします。 ・ 該当する担当者が記載された建築C P D実績証明書を添付してください。											
				C P D 認定時間が10以上20時間未満	2				○ 構造に係る設計者として <b>従事した「評価対象業務」における実績</b> を評価します。  ・ 様式-4の3に記載できる実績は1件までとします。官民は問いません。 ・ 「業務実績7～9」の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面、構造計算概要書の写し等）を添付してください。ただし、PUBDISに掲載のものは、その写しを添付することによって、これらの書類の一部に代えることができます。 ・ PUBDISに掲載のものはPUBDISのコードを記入してください。											
				C P D 認定時間が5以上10時間未満	1															
			評価対象業務実績(*12)	「業務実績7」(*7)	10	10														
				「業務実績8」(*8)	7															
				「業務実績9」(*9)	4															
設備主任技術者	建築CPDによる能力開発度	C P D 認定時間が20時間以上	3	3	13	様式-3、様式-4の4	○ 設備主任技術者の <b>建築CPDによる技術能力研鑽状況</b> を評価します。  ・ 建築C P Dの取得状況については、（公財）建築技術教育普及センターを事務局とする建築C P D運営会議の発行する建築C P D実績証明書におけるC P D取得単位（認定時間数）を記載してください。期間については令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とします。 ・ 該当する担当者が記載された建築C P D実績証明書を添付してください。													
		C P D 認定時間が10以上20時間未満	2				○ 設備に係る設計者として <b>従事した「評価対象業務」における実績</b> を評価します。  ・ 様式-4の4に記載できる実績は1件とします。官民は問いません。 ・ 「業務実績4～6」の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。ただし、PUBDISに掲載のものは、その写しを添付することによって、これらの書類の一部に代えることができます。 ・ PUBDISに掲載のものはPUBDISのコードを記入してください。													
		C P D 認定時間が5以上10時間未満	1																	
	評価対象業務実績(*12)	「業務実績4」(*4)	10	10																
		「業務実績5」(*5)	7																	
		「業務実績6」(*6)	4																	
技術力評価	技術力要件	業務内容に対する技術提案	業務の基本方針	優れている	15	15	30	30	30%	様式-5の1	○ 本業務における <b>業務の基本方針及び業務の実施体制</b> を評価します。  ■ <b>業務の基本方針について</b> ・ 業務の実施方針、手法、設計上特に重視する事項及びその他の業務実施上の配慮事項等を記載してください。 ・ 「御浜町統合小学校及び統合中学校基本計画」及び「設計に際しての留意事項書」の内容を反映してください。 ■ <b>業務の実施体制について</b> ・ 設計の工程計画、業務フロー及び動員計画（数量（人数）がわかるもの）を記載してください。 ・ 適正な工期の算定、生産性や施工性の考慮、建設費の変動等を踏まえ予算内で設計をまとめる建設コストの管理手法、概算工事費の精度を高める工夫、その他、事業が円滑に実施できるための配慮等を記載してください。 ・ A4版タテ2頁とし、各テーマは必ず1頁に記載してください。（1頁に2つのテーマを記載すること、1つのテーマを2頁に渡って記載することはいししないでください。） ・ 文書を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ・ 記載を求めている事項について記載がない場合は評価を行いません。									
				良い	12															
				普通	9															
				やや不十分	6															
				不十分	3															
				極めて良い	15															
			業務の実施体制	良い	12															
				普通	9															
				やや不十分	6															
				不十分	3															
				極めて良い	15															
				良い	12															
1次審査計											100									

- (\*1) 「**業務実績1**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積2,500㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*2) 「**業務実績2**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,500㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*3) 「**業務実績3**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,000㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*4) 「**業務実績4**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積2,500㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*5) 「**業務実績5**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,500㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*6) 「**業務実績6**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,000㎡以上の学校教育法（昭和22年3月29日法律第26号）に定める小学校、中学校又は義務教育学校(\*13)、(\*14)、(\*15)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*7) 「**業務実績7**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積2,000㎡以上のRC造又はSRC造の建築物(\*13)、(\*16)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*8) 「**業務実績8**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,500㎡以上のRC造又はSRC造の建築物(\*13)、(\*16)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*9) 「**業務実績9**」とは、平成22年度以降に設計業務が完了した延べ面積1,000㎡以上のRC造又はSRC造の建築物(\*13)、(\*16)の新築、増築又は改築の設計業務(\*11)をいいます。
- (\*10) □「PUBDIS」とは、公共建築設計者情報システムのこと、公共建築の設計者選定を支援することを目的として国土交通省及び宮崎積算システム等開発利用協議会（都道府県・政令指定都市で構成）等により開発されたデータベースシステムのことをいいます。なお、評価の対象となるものは、「業務カルテ情報」として掲載されている発注者の確認を受けた業務に限ります。
- (\*11) 「設計業務」とは、国土交通省告示第8号（令和6年1月9日）別添一に掲げる基本設計又は実施設計に係る標準業務をいいます。
- (\*12) 管理技術者、意匠主任技術者、構造主任技術者及び設備主任技術者の業務の実績については、協力事務所として携わった業務実績に加え、現在所属している建築士事務所以外での実績も評価の対象とします。
- (\*13) 「評価対象業務の実績」及び「過去の受賞実績」において、当該実績が増築の場合は、増築部分の床面積に基づき評価を行います。
- (\*14) 校舎棟のみの延べ面積とし、附属棟の延べ面積を除きます。
- (\*15) 複合施設の場合は、評価対象となる用途に供する部分の床面積（これに附随する共用部分も含む。）とします。例示の用途が併存する場合は床面積を合算するものとします。
- (\*16) 建築基準法（昭和25年法律第201号）第20条第2項の別の建築物とみなすことができる部分が2以上ある場合は、これらのうちいずれかの床面積とします。

【技術提案書の評価方法等】  
「技術力評価」における得点は、各委員の評価点を平均して算出します。（小数点第2位を切り捨て）

技術提案書（2次審査用）												
大項目		中項目	小項目	評価基準		技術 評価点	小項目 得点	中項目 得点	大項目 得点	配点率	様式	備 考
技術力評価	業務内容に対する技術提案（特定テーマ）	特定テーマ（1）	提 案 の 的 確 性	極 め て 高 い	30	30	70				様式-5の2	特定テーマ（1）■ 建築計画 以下の事項に対する設計上の取組方法等を具体的に記載して下さい。  ・「御浜町の自然や文化を活かし、小中一貫校として9年間を見通した教育の特色を活かすためのハード面での利便性や、小中が混在して生活する上での安全性及び災害時の避難施設を想定した機能を確保した建築計画について」  ○ 提案の的確性、独創性及び実現性について評価します。  ・ 文章を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ・ 特定テーマ（1）～（3）の頁数の合計がA3版ヨコ2頁以内であれば、各特定テーマの配分は任意とします。なお、頁数の合計が3頁以上となる場合は、特定テーマ（1）～（3）の全ての評価を、また、特定テーマとして記載を求めている事項の記載がない場合は、当該特定テーマの評価を行いません。
				高 い	24							
				普 通	18							
				や や 低 い	12							
				低 い	6							
			提 案 の 独 創 性	極 め て 高 い	20	20						
				高 い	16							
				普 通	12							
				や や 低 い	8							
				低 い	4							
			提 案 の 実 現 性	極 め て 高 い	20	20						
				高 い	16							
				普 通	12							
				や や 低 い	8							
				低 い	4							
	業務内容に対する技術提案（特定テーマ）	特定テーマ（2）	提 案 の 的 確 性	極 め て 高 い	20	20	50	150	75%	様式-5の2	特定テーマ(2)■ 敷地利用計画 以下の事項に対する設計上の取組方法等を具体的に記載して下さい。  ・「敷地形状や周辺環境に調和し、利用者の安全で分かりやすい動線を考慮しつつ、学校施設としての防犯やセキュリティ対策にも配慮した敷地利用計画について」  ○ 提案の的確性、独創性及び実現性について評価します。  ・ 文章を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ・ 特定テーマ（1）～（3）の頁数の合計がA3版ヨコ2頁以内であれば、各特定テーマの配分は任意とします。なお、頁数の合計が3頁以上となる場合は、特定テーマ（1）～（3）の全ての評価を、また、特定テーマとして記載を求めている事項の記載がない場合は、当該特定テーマの評価を行いません。	
				高 い	16							
				普 通	12							
				や や 低 い	8							
				低 い	4							
			提 案 の 独 創 性	極 め て 高 い	15	15						
				高 い	12							
				普 通	9							
				や や 低 い	6							
				低 い	3							
			提 案 の 実 現 性	極 め て 高 い	15	15						
				高 い	12							
				普 通	9							
				や や 低 い	6							
				低 い	3							
	業務内容に対する技術提案（特定テーマ）	特定テーマ（3）	提 案 の 的 確 性	極 め て 高 い	10	10	30		様式-5の2	特定テーマ（3）■ 環境配慮 以下の事項に対する設計上の取組方法等を具体的に記載して下さい。  ・「環境負荷及びライフサイクルコストの低減や、維持管理に配慮するとともに、ZEB Readyを目標とした省エネ化の提案について」  ○ 提案の的確性、独創性及び実現性について評価します。  ・ 文章を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ・ 特定テーマ（1）～（3）の頁数の合計がA3版ヨコ2頁以内であれば、各特定テーマの配分は任意とします。なお、頁数の合計が3頁以上となる場合は、特定テーマ（1）～（3）の全ての評価を、また、特定テーマとして記載を求めている事項の記載がない場合は、当該特定テーマの評価を行いません。		
				高 い	8							
				普 通	6							
				や や 低 い	4							
				低 い	2							
			提 案 の 独 創 性	極 め て 高 い	10	10						
				高 い	8							
				普 通	6							
				や や 低 い	4							
				低 い	2							
			提 案 の 実 現 性	極 め て 高 い	10	10						
				高 い	8							
				普 通	6							
				や や 低 い	4							
				低 い	2							
見 積 書	業務コスト	見積価格が安価な場合に優位に評価する				5	5	5	5	2%	－	見積価格に応じて下記の算定式により評価点を算定する。  評価点 ＝ 配点 × $\frac{\text{（設計額 － 提案者見積価格）}}{\text{（設計額 － 最低見積り価格）}}$  【評価点は、小数点第2位切り捨てとする。】
		予定技術者の経験及び能力	専門技術力及び取組姿勢	専 門 性 及 び 取 組 意 欲	優 れ て い る	25	25	25	45	23%	－	○ 配置予定の <b>管理技術者</b> 、 <b>意匠主任技術者</b> に対して <b>ヒアリング</b> を行い、「専門技術力」、「取組姿勢」について評価します。  ・ 特定テーマに係る技術提案等について、ヒアリングを通じて的確性及び専門性が高いと判断される場合、提案した業務着眼点、実施方針などの取組姿勢に関する補足説明が明快で、取組意欲が強く感じられる場合、優位に評価します。 ・ 配置予定の管理技術者、意匠主任技術者がヒアリングに出席できない場合はヒアリングの評価を行いません。
良 好	20											
普 通	15											
や や 不 十 分	10											
不 十 分	5											
コミュニケーション力	質 問 に 対 す る 応 答 性		優 れ て い る	20	20	20	○ 配置予定の <b>管理技術者</b> 、 <b>意匠主任技術者</b> に対して <b>ヒアリング</b> を行い、「コミュニケーション力」について評価します。  ・ 質問に対する応答が明快、かつ迅速な場合、優位に評価します。 ・ 配置予定の管理技術者、意匠主任技術者がヒアリングに出席できない場合はヒアリングの評価を行いません。					
			良 好	16								
			普 通	12								
			や や 不 十 分	8								
			不 十 分	4								
2次審査計									200			

【技術提案書の特定・評価方法等】

- 1 技術提案書の特定については、1次審査と2次審査の得点の合計の高いものを選定します。
- 2 「技術力評価」における得点は、各委員の評価点を平均して算出します。（小数点第2位を切り捨て）
- 3 1次審査と2次審査の得点の合計が同点の場合は、以下の順序で得点が高いものを選定します。
- 「特定テーマ（1）、（2）、（3）の合計」→「専門技術力及び取組姿勢、コミュニケーションの合計」→「業務内容に対する技術提案」→「管理技術者」→「意匠主任技術者」→「構造主任技術者」→「設備主任技術者」